

植物多様性センターの「カジイチゴの花」

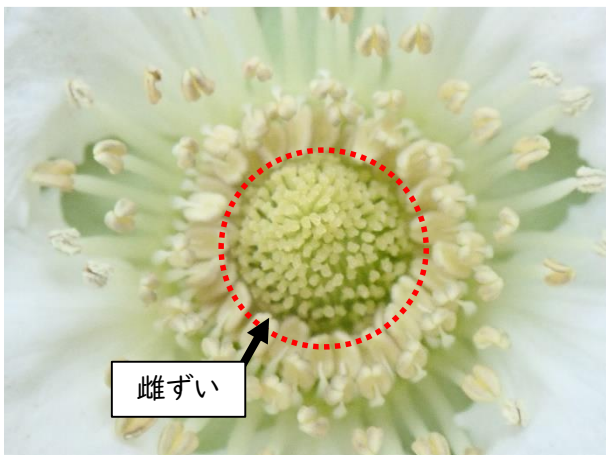
伊豆諸島ゾーンの極相林エリアでカジイチゴの真っ白な花が咲いています。カジイチゴはバラ科キイチゴ属の低木で、海岸沿いの明るい林縁等に生えています。カジイチゴなどキイチゴの花を観察すると、1つの花に多数の雌ずいがあるのが分かります。それぞれの雌ずいが受精すると核果となり、その核果が集まって1つの集合核果(キイチゴ状果)になります。見慣れた花でもよく観察するとみんな個性がありますね。



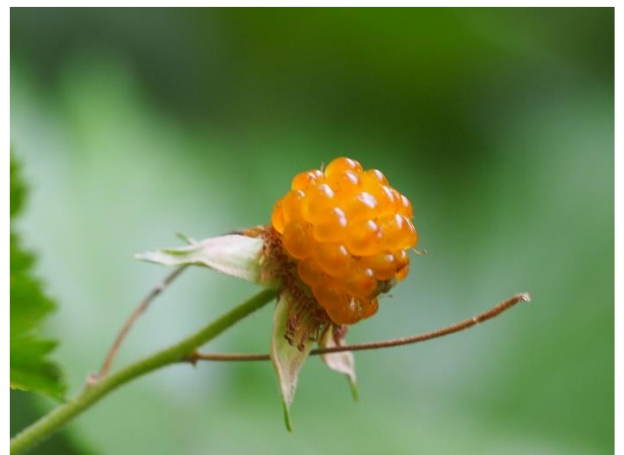
しわのある白い花びらの花を上向きに咲かせる。



葉がカジノキに似ているところからカジイチゴの名が付いた。



花の中央には多数の雌ずいが付いている。



受精した雌ずいが、それぞれ1個の果実となる(5月撮影)。